

資源評価基準の詳細について

(1) 評価基準

- ①評価指標 資源量、CPUE、漁獲量の順に用いる。
- ②資源水準は、4分位により評価し、第1分位数以下を「低位」、第1分位数から第3分位数までを「中位」、第3分位数以上を「高位」とする。
- ③資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から、年間5%以上の増加を「増加」、5%以上の減少を「減少」、5%未満の増加又は5%未満の減少を「横ばい」、動向の判断ができない場合は「不明」とする。

なお、漁獲が低迷する魚種については、資源評価の指標値の振れ幅が大きく、増加傾向になりやすいことなどから、計算上で「増加」となった場合においても、判断が難しい場合は「不明」を用いることとし、加えて説明を記載する。

(2) 資源水準のマーク

高位 ◎
中位 ○
低位 △

(3) 資源動向のマーク

増加 ↗
横ばい →
減少 ↘
不明 —